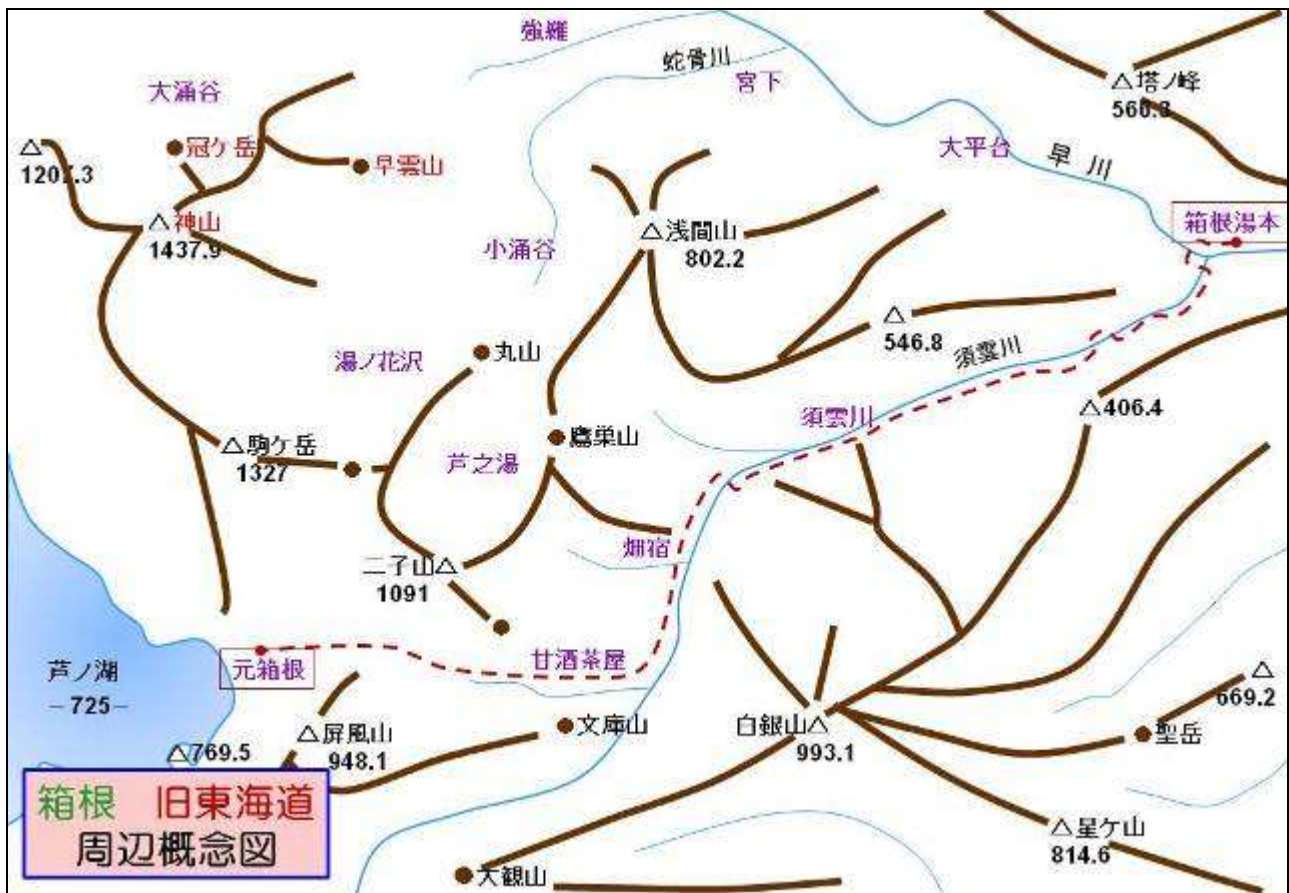


# 踏み跡 <My Mountains>

箱根	旧東海道と神山	No.228
----	---------	--------

山中湖マラソンのメンバーであるTさんが定年退職を迎えることになり、記念イベントの幹事として「箱根の旧東海道を歩く会」を企画した。幹事と言っても、まだこのコースを一度も歩いたことがない。下見をして参加メンバーに当日配布する資料を作ることにした。下見には、かみさんが同行。イベント本番は9月26日なので、その二週間前を下見の日にした。また、この旅は我が登山人生の中で初めての箱根入りという記念すべき旅でもある。この後も何度か通うことになり、結果的に箱根の山を歩くきっかけの旅にもなった。



平成4年9月12日

天気は上々、新宿発8時31分急行箱根湯本行。箱根湯本には10時半頃に到着。

昼食用の弁当を購入して、25,000分の一の地図を片手に歩き始める。出発は10時48分。

湯本は海拔100mほど、芦ノ湖湖畔の元箱根までの約10Kmの行程中の最高点は海拔800m。かなりの高度差を登ることになる。東京・箱根駅伝の凄さを改めて感じる。

まずは早川沿いの旅館の裏手のようなところから歩き始めて、橋を渡って支流の須雲川側に渡る。国道を離れて須雲川を右手に見て進む道には「滝通り」という名前が付けられていた。玉簾（たますだれ）の滝への遊歩道ということらしい。

再び国道に出て緩やかに登って行くと、葛原というバス停の脇にクルミの実が沢山落ちていた。

須雲川11時50分。民家と商店が並ぶ集落を通り過ぎて、須雲橋のたもとから須雲川自然探勝歩道に入る。国道を離れて遊歩道と山道になってほっとしたが、堰堤を渡って再び国道へ。飛び出した国道はかなりの傾斜になっており、「山を登っている」という実感が出てくる。このあたりで海拔300mを越えたかも。

12時07分畑宿発電所の脇の河原で昼食。晴れた気持ちの良い空の下で12時半まで休憩。

後からできた国道が何度となく山道を横切るの、登山気分がそがれるがこんな調子が暫く続くようだ。

12時37分再び自然探勝歩道に入ってしばらくすると石畳の道が始まった。石畳の入り口で一旦下りになりはしたが、その後静かに登っていく味わいのある石畳の小道になった。(次ページ写真)

## 踏み跡 <My Mountains>

また国道に出て、やがて畑宿の集落に出た、13時05分。畑宿本陣をはじめとして立派な家が立ち並ぶ集落だが、売店などもあり観光客でにぎわっている。13時20分畑宿を出発。

国道と箱根新道が上下左右に入り乱れるようにヘアピンカーブで折り重なり、石畳の道はその間隙を縫うように、ある時は跨ぎ、ある時は潜り、またある時は階段を上りと苦労しながら進んで行く。この地の名前はまさにその通りの「七曲がり」と言うらしい。



長い石段が国道のヘアピンを直結していたが、登りきったところで国道を渡る畑宿歩道橋が待ち構えている随分意地悪な場所で七曲がりを抜けた。(左写真)

振り返ると小田原方面の町と海が見えて、高い所にきているなという感じがしてきた。地図を見ると海拔500mぐらいだろう

うか。追い込み坂を登ってしばらく進み、

(右写真：追い込み坂入口)  
山道が国道と平行に走るようになる

になると甘酒茶屋。  
海拔650mぐらいになるだろう

うか。14時20分、「お茶は無料」と書いてあるのでしばし休憩。有名になってしまったせいか各種人種が集まり、店の中はかなり混雑している。お茶だけ飲んで早々に退去、14時43分出発。

しばらくは登りが続き、海拔800mからゆっくりと芦ノ湖に向かって下るようになった。下りの途中で右折して発電所前を通って国道へ出ようと思ったが、曲がり角を見落としたので元箱根で国道に出てしまった。しばらく国道を歩き、飯島山荘入口から右折して近道に入り少々距離を稼いで国道に合流。15時50分双子茶屋で本日の終点とすることにした。

25分待ったバスは満員で、さすが国民的観光地だと納得しながら小涌谷駅へ。ここから強羅まで電車に乗り、会社の保養所三花月荘に18時過ぎに到着し、初日の行程は終了。

平成4年9月13日

天気は晴れ。強羅駅から電車で早雲山へ、そしてゴンドラに乗って海拔1000mの大涌谷へ。大涌谷に9時46分に到着。薄く雲をまとった富士山が見える。(右写真)

左右に噴気を見下ろしながら小尾根を一気に登って行く。冠ヶ岳と神山の中間点の鞍部に到達、10時50分。

ここから南にもうしばらく登り続けると神山の山頂。

<下写真：海拔1437.8m、箱根の最高峰からの眺め>



相模湾、大島、伊豆の天城山などが良く見える。箱根ならではの眺めだが、残念ながら相模湾からの水蒸気の影響で霞がかかったような感じ。20分ほど眺めを楽しんだ後鞍部に戻り北に座す冠ヶ岳へ。こちらは樹林があつていささか展望に違いがある。樹間に丹沢と富士を眺めて10分の小休止。ついでに早雲山(1151m)を往復し、早雲山駅へ下山。

## 踏 み 跡 <My Mountains>

箱根湯本発 15 時 28 分の特急に乗り、初の箱根登山は閉幕となった。

観光旅行などでは何度か足を運んでいる箱根も、登山という切り口で臨んだのはこれが初めてだった。

意外に面白そうな山じゃないか、というのが率直な印象。阿蘇などに比べれば随分スケールは小さいが、複式火山であることを充分に感じられる景観を体験できた。

さらに、二週間後に計画している「箱根の旧東海道を歩く会（仮称）」の下見としても十分な成果が得られた。要所で撮った写真と地図的なメモを元に、参加メンバーに配布するガイドシートのイメージがまとまった。素晴らしい資料ができそうだ。

以上